

会費納入先
年額会費 3,000円

■郵便振替
〈口座番号〉
00110-4-151150
〈加入者名〉
東京天草郷友会

広げよう 天草の 仲間の輪



あまくさ

東京天草郷友会会報
2024年3月15日

発行所 東京天草郷友会
発行人 上田 幸穂
編集 広報部
事務局 〒102-0072 東京都千代田区
飯田橋 3-11-13 飯田橋i-MARK
ANNEX302 株式会社OSTプレーン内
TEL 03-3261-5100
FAX 03-5210-4466
E-mail: info@goyukai.jp

春 到 来 !

天草を「さるいて」みませんか？



目 次

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 02 会長あいさつ | 13 健康コラム |
| 03 幹事会 | 14 天草地元だより |
| 04~05 あまくさトピックス (苓北町) | 15 東京天草育英会 |
| 06~07 ゴルフ会 | 16~17 女性部旅行 |
| 08 増上寺 | 18 連載 赤石という生き方 |
| 09 地域会だより(有明会・苓北会・新和会) | 19 会計報告 |
| 10~11 苓洲会 | 20 総会案内・県人会報告・お知らせ |
| 12 昔むかしの昔話 | あとがき |

■ 会長あいさつ

・ 会長ごあいさつ ・

東京天草郷友会会長 上田 幸穂



2024(辰)年も早3ヶ月を経過しますが、東京天草郷友会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、令和2年以来3年以上に及んだ新型コロナウイルスによる社会経済活動の制限が漸く緩和され、当会も会員並びに多数の御来賓のご出席のもと、久々に本格的な総会・懇親会を賑々しく開催するとともに、チャリティコンペ、増上寺見学会等の諸行事を盛会裏に実施することができました。これはひとえに担当役員各位の真摯なご尽力の賜物であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、加えて嬉しいのは、天草各地の出身者による各地域会も活発さを取り戻しつつあることです。昨年は、上天草、有明、荅北、新和、高浜及び大江の各地域会の総会がいずれも数年ぶりに復活開催され、お招きに預かりましたが、いずれの会も久々に会員が一堂に会した歓びを満喫されるところに、懐かしい故郷の想い出話に花が咲いていました。さらに、地域会以外にも、新卒者を含め同窓生の若い熱気がみなぎる天草工業高校同窓会や、樋島地区の観乗寺の檀家の皆様による観乗寺会にも出席させていただきましたが、いずれの会も故郷天草に対する郷土愛に満ち溢れておりました。私といたしましては、同じ天草出身者として、各会の天草を想う気持ちと同郷会としてのエネルギーを心強く感じるとともに、何としてもこのエネルギーを東京天草郷友会の活性化に資するべく、各会との連絡協調及び人事交流を一層密にして相互発展を期するべきところと改めて肝に銘じたところであります。

つかり任期が経過しましたが、この2年の間会長としての職責を果たし得たか否かにについては正直申し上げて自信がないところであり、懸案となっている役員の若返りの観点からも「早期に後進に任を委ねるべきでは？」とも考えましたが、三役会においては「未だ道半ばにつき今暫く任に当たるべし」とのご意見を頂戴し、12月開催の幹事会において留任の承認をいただきました。このため、甚だ僥越ではありますが、会長2期目として一層の精進をして参ることといたしましたので、今後とも会員各位の倍旧のご支援ご指導を賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

一般に辰年は陽気が動いて万物が活力旺盛となり、飛躍的に成長し形が整う年といわれていますが、これにあやかり東京天草郷友会の諸活動が益々活性化し充実する年となるよう祈念いたします。

末尾になりましたが、東京天草郷友会の会員各位の益々のご清祥を祈念申し上げて、簡単ですが会長挨拶とさせていただきます。

山本・園田法律事務所

弁護士 園田 峯生 (本渡出身)

〒102-0093 東京都千代田区平河町二一五-七

ヒルクレスト平河町五〇二号

電話 〇三(三三六)六六三九

FAX 〇三(三三六)六六二五

●診療受付時間 午前九時～十二時・午後一時～四時
●休日 日曜・祝祭日(木曜日午後・土曜日午後)
医療法人社団福神会

柴田産婦人科医院

柴田 治美 (荅北町出身)

〒193-0823 八王子市横川町五一五(陣馬街道筋)
電話 〇四二一六二五-〇三〇三

クラブ 赤石

赤石 洋子 (本渡出身)

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目八番七号
銀座第3ソフワレビル5F
電話 〇三(三五七)三三九四番
飲食代(ひとり)5,000円～6,000円

久保 祐一郎 (龍ヶ岳出身)

ファイブスター

FIVE STAR ★★★★★

〒104-0061 東京都中央区銀座8-7-20ベル5
電話 〇三(三五七)二一六六一
銀座ビル4F
携帯 〇九〇(二四〇三)四四一四

東京運輸株式会社

代表取締役社長

栢山 和成

Mobile.090-2211-5798

【本社】〒174-0075
東京都板橋区桜川12-15-18
TEL 03(3931)7004(代)
FAX 03(3931)7512番【茨城営業所】〒306-0225
茨城県古河市磯部11-1
TEL 0280(93)0004
FAX 0280(23)4003加須事業所
TEL・FAX 0480(48)6384

2023年度

事務局だより

「東京天草郷友会」第3回幹事会開催

初冬の12月3日(日)、四ツ谷の主婦会館プラザエフにて会長以下役員幹事25名が集り、第3回幹事会を行いました。

会は塚本幹事長の司会で進められました。

最初に、上田会長の挨拶があり、今期の活動へのお礼がありました。

10月10日開催のチャリティーゴルフ大会では、8組28名に参加頂き約31万円の寄付金が集まり、大会の趣旨に多くの皆様に賛同して頂きました。ただ、3連休明けでもあったことから、仕事の関係で参加できない方も多く今後の日程については検討が必要と述べられました。各地域会に参加して、多くの会員の皆様が出席しており、活動が再開したことをとても嬉しく思います。

また、会長の任期について、今年5月で1期2年を迎えることから、役員の皆様にご意見を伺ったところ2期目の継続を全員一致で決定しました。

各部からの連絡は次の通りです。

財務部平山部長から、会費納入者のアップに向けた施策協力の依頼がありました。

組織部横田部長より、地域連絡協議会の開催



報告と、荅北会での事例として地域会欠席者のコメントと近況が発表されていることがとても印象に残ったとの報告がありました。

広報部稲田部長より、広報誌「あまくさ」118号の進捗状況報告と原稿の取り纏めに苦勞しており、引き続き協力をお願いがありました。文芸部より今年の俳句大会概要の説明がありました。

最後に、女性部志茂部長から増上寺見学ツアーの開催報告と、1月末のバス旅行の詳細の発表がありました。

また、新役員として天草町出身の川原浩貴さんが事業部に加わることが発表されました。



した。

引き続き、上田会長(安達青年部長の代わり)からホームページの進捗報告がありました。新会員の拡大と会の周知をするためには必要であり進めていきたい。予算面にては厳しいが、公的機関からの協力と広告収入等を検討していることから、当初予算として会費より制作予算として50万円の捻出提案があり可決しました。

事務局より令和6年度定期総会を4月21日(日)スクワール麹町にて開催することの発表がありました。

前回決定した通り、福引景品については従前の形式で役員からの景品提供をお願いすることになりました。

経費削減の観点から、広報誌送付先の削減についても協議しました。現在、広報誌「あまくさ」は1500部印刷し1200部を会員に送付しています。一方会費納入者は約250名になっており、会の運営が厳しくなっております。そこで、広報誌送

付先の削減による経費圧縮の議題も挙がりましたが、今回は継続協議となりました。是非とも会員の皆様のお志を厚くお願い申し上げます。

懇親会では会話に花が咲き、前向きな話題が各所で聞かれました。

寺平副会長の乾杯で始まり、忘年会を兼ねた食事が進行しました。

地域会での活動内容や、今年で終了した上天草市の観乗寺会(築地本願寺にて開催)の話題、また天草工業高校会に参加された方からは、「元気があって良かった」との声が聞こえてきました。

会場は8階でもあることから、四ツ谷の迎賓会を望みクリスマスを迎える紅葉を拝観できました。

最後は横田組織部長の締めでお開きとなりました。幹事の皆様、ご参加ご意見ありがとうございました。

(事務局 西岡智彦)



あまくさトピックス

苓北町編



苓北町長
山崎 秀典

元日に発生しました石川県能登地方を震源とした「令和6年能登半島地震」においてお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、東京天草郷友会の皆さま、そして、ふるさと苓北を愛する皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年1月30日に第十八代苓北町長に就任しました山崎秀典と申します。私にとりましては、人生最大の決断をし、町民皆さまから託された責任を強く感じ、町民お一人お一人が心豊かな生活を送られ、より住みやすい苓北町になるよう誠心誠意取り組んでいく所存でございます。

さて、現在、全国の多くの地方自治体が、人口減少や少子高齢化などの影響により産業における担い手不足や、地域コミュニ

ティの衰退などの課題に直面しております。

私が町長に就任して以来、「人が輝き地域が輝く まちづくり」を施政方針に掲げ、苓北町を担う人づくりのため各種施策の推進に取り組んでまいりました。今後さらなる苓北町の振興・発展に向けて、職員と一丸となって全力を尽くしてまいりますのでございます。

特に、本年は「人口減少」と「少子高齢化」という大きな課題に対して、「大変な時こそ大きく変わるチャンス」と捉え、一段と「ギア」をあげて取り組んでいかなければならないと強く感じております。

さらに、新たな取り組みを実行に移していくための起点となる年とも考えており、少子高齢化への対応、産業における担い手の確保や雇用の場の創出、併せて苓北町の知名度アップと交流人口や関係人口の拡大という大きな3つを重点課題として取り組んでまいります。

会員皆さまには、それぞれのお立場から、苓北町のさらなる発展にご尽力を賜れば幸甚でございます。重ねて、美しい自然に囲まれ、奥深い歴史の上に立つ苓北町を、より多くの方に訪れていただきたいと願うものであります。

地域づくり実践塾がスタート

「人が輝き 地域が輝く まちづくり」

を実現するための新たな取り組みとして、町民の皆さんと未来に向けたまちづくりを考え、語り合う場を提供しようと「地域づくり実践塾」を、昨年6月から10月までにかけて全5回開催しました。

今回、町政への熱い思いを持たれたさまざまな分野の町民の方々18人にご参加いただき、町の未来を見据えて真剣に意見発表や協議を行いました。

同塾では、「子育て支援」、「移住・定住」、「農業」、「観光業」の4つのテーマを基にワークショップを実施。

ワークショップを主体に、各分野における現状と課題の把握から、取り組むアイデアを検討し、企画案を作成しました。



ワークショップ内で意見を出し合う参加者ら

苓北真夏の風物詩

天草苓北ペーロン大会

7月16日、新型コロナウイルス感染症が発生して以来約4年ぶりに、苓北真夏の風物詩「第35回天草苓北ペーロン大会」が開催されました。

勝利に向かって、力強い櫓さばきを見せる！当日は、町内をはじめ、長崎市や友好姉妹都市の佐賀県唐津市から計16チームが出場し、猛暑のなか熱戦を繰り広げました。今回はタイムを競う「チャンピオンシップの部」、順位を付けず楽しく漕いでもらう「フレンドシップの部」、ファミリーの部の3部門で競技が行われ、往復500メートルのコースで、太鼓や銅鑼をにぎやかに打ち鳴らしながら、漕ぎ手は力強く櫓を漕ぎ、海上を駆け抜けました。ようやく町のイベントも活気を取り戻しつつあります。



勝利に向かって、力強い櫓さばきを見せる！

志岐氏サミットが 約7年ぶりに開催

10月14日①と15日②の2日間、約7年ぶりに「第7回志岐氏サミット」を志岐集会所で開催し、全国各地の志岐さん(33人)が参加しました。

第7回志岐氏サミットの参加者ら 14日には、平井建治さん(天草文化協会会長)の歴史講演会や大田幸博さん(苓北町文化財保護アドバイザー)による志岐城跡発掘調査の調査報告の説明があり、終盤には、志岐由理子さん・中川大さんによる記念コンサートが開催され、美しい声で会場を魅了しました。15日には、富岡城や志岐城跡、志岐八幡宮秋季大祭などを視察し、町の様子を眺めました。



第7回志岐氏サミットの参加者ら

新たな観光スポットが誕生！

苓北町では、新たな観光コンテンツの造成を目指し、富岡城公園内(熊本県ビクターセンター付近)に新しい観光スポットを整備しました。

その名も「富岡の股のぞき台」。

今回整備した「富岡の股のぞき台」で、海に背を向けて立ち、大きく足を開いて、自身の股をのぞいてみてください。上下が逆さまになることで、前後の距離感を失い、物の大きさが違った、新しい景色に出合うことができるかもしれません。

富岡の股のぞき台から新たな発見を！ぜひ、「富岡の股のぞき台」に立ち、通常のすばらしい景色と、上下逆の新しい景色をお楽しみください。



富岡の股のぞき台から新たな発見を！



『天草・苓北ふるさとづくり寄附金』 ご協力のお願い

苓北町の木：椿(つばき)



感謝

寄附していただいた苓北町外にお住まいの皆さまには、ふるさと“苓北町”から感謝の品(町特産品)をお送りします。



申込

苓北町ホームページの「天草・苓北ふるさとづくり寄附金」ページからアクセスすることができます。サイトの「お申し込み」ページでは、手続きやお申し込みの方法について詳しくご説明しています。



【問い合わせ】

〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660番地

苓北町役場 総務課 ふるさと納税係

TEL: 0969-35-1111 FAX: 0969-35-2454



詳しくはこちら！

東京天草郷友会主催

第2回

チャリティコンペ報告書



令和5年10月10日、霞ヶ浦国際ゴルフコースにて開催された東京天草郷友会主催第2回チャリティーコンペは、プレー中は爽やかな好天に恵まれ、盛会裏に終了しました。

出場者のみならず多数のチャリティー協賛者各位のご支援により、下記Ⅱの収支明細のとおり313,988円の純益金を計上することができましたので、これを東京天草郷友会の緊急災害救援基金として積み立てることとしました。その結果、前回積立額を合わせた救援基金の残高は630,728円となります。

Ⅰ 主な表彰者 (敬称略)

優勝 井上正三 (五和町) グロス 103 (HDC P 32.4) ネット70.6
準優勝 浪瀬正則 (五和町) グロス 91 (HDC P 18.0) ネット73.0
第三位 松野良二 (天草町) グロス 96 (HDC P 22.8) ネット73.2
ベストグロス賞 村本幸明 (松島町) グロス84 ※2年連続

Ⅱ 収支明細

1 収入金額合計……………424,000円 ((1)~(3)の合計)

(1) コンペ参加者28名からの会費及び寄付金額……………215,000円

コンペ参加者氏名 (出身地) ※敬称略、コンペスタート順

松野良二 (天草町)、上田幸穂 (天草町)、菅原邦廣 (ゲスト)、高倉明 (ゲスト)
中本幸政 (天草町)、平井栄徳 (ゲスト)、熊谷和人 (ゲスト)、渡部司 (ゲスト)
井上正三 (五和町)、泉文也 (五和町)、西末光 (五和町)、浪瀬正則 (五和町)
小山隆紹 (五和町)、小山隆爾 (五和町)、伊東雅則 (ゲスト)、寺平末廣 (河浦町)
嶋田紀一 (ゲスト)、照井辰美 (ゲスト)、藤波繁寿 (ゲスト)、中畑森光 (河浦町)
松元真人 (ゲスト)、山本進 (ゲスト)、藤川博祥 (新和町)、緒方輝男 (龍ヶ岳町)
勝木隆 (栖本町)、村本幸明 (松島町)、安達大悟 (河浦町)、汐見香林 (松島町)

(2) ワンオン失敗チャリティー協力金……………29,000円

(3) コンペ不参加者18名からの協賛金収入……………180,000円

寄付者氏名 (当会との関係、出身地等) ※敬称略、五十音順

赤石洋子 (財務部副部長)、今福幸春 (関東有明会会長)、内田由美子 (副会長)
岡本日吉 (新和町)、押方和雅 (有明町)、川口智光 (大矢野町)、北内寿夫 (佐伊津会会長)
桁山千鶴香 (前副会長)、堺亜流 (前会長)、柴田治美 (前副会長)、志茂豊子 (女性部長)
白濱満 (龍ヶ岳町)、園田峯生 (元会長)、田原昭・真紀子夫妻 (本渡)、塚本浩晴 (副会長)
西岡智彦 (事務局長)、西田勝年 (天草情報担当)、山下政博 (本渡)

(4) 賞品等提供者

上記のほか、コンペに際して8名の方から下記賞品の提供がありましたので、入賞副賞及び参加賞等に充当させていただきました。

桑本五男様（会友、ベストン株）…ウイスキー、ビール券2通、ボール10箱

北辻進様（天草情報担当）……………天草焼酎2本セット

長谷場大亮様（牛深市：ひごの屋）……焼酎

池田光希様（五和町：書家）……ご自身の書の色紙2枚（1枚は額入り）

村本幸明様（松島町）……………高級ボストンバッグ

上田幸穂会長（天草町）……………古代おこし大2個

中本幸政事業部長（天草町）……………古代おこし小10個

安達大悟青年部長（河浦町）……………カラーボール1ダース

2 経費合計……………110,012円 ((1)～(6)の合計)

(1) 通信費（郵送費等）	28,157円
(2) 賞品代（商品券等）	38,400円
(3) 雑費（コンペフラッグ代）	1,320円
(4) 雑費（クラブへのお土産代）	2,150円
(5) 表彰式費用（霞ヶ浦国際GC）	38,210円
(6) 協賛金振込手数料	1,775円

3 差引純益金 313,988円

優勝した井上正三さん(右)の表彰



アウトスタート1組



アウトスタート2組



アウトスタート3組



アウトスタート4組



インスタート1組



インスタート2組



インスタート3組



インスタート4組



浄土宗大本山増上寺

への参拝



去る令和5年10月1日(日)に、東京天草郷友会の事業部・女性部担当の企画による浄土宗大本山増上寺の参拝のイベントが晴天の中で開催されました。御祈願の機会もあり会員の参加者は43名に及びました。当日は増上寺会館に10時集合し、10時20分～11時20分には本堂において全員参加の下、第89世法主・小澤憲珠台下様による法要が執り行われ、法主様より御祈願を戴きました。11時30分～12時30分には福島からご出張いただいた青木法然上人様より増上寺の歴史及び文化遺産についての講和を拝聴しました。12時30～椿の間にて昼食、13時40分～14時40分には高僧様のご案内による増上寺境内の拝観を体験しました。安国殿の背後に存在する普段は許可なくしては入れない徳川将軍家歴代の墓所を見学しました。墓所から見上げた東京タワーとのコントラストが鮮やかで、参加者の皆さんは興味深かそうに写真撮影をしていました。15時に参拝の全スケジュールが終了し解散となりました。ご参加いただいた会員の皆様、長時間ご苦勞様でした。

(広報部部長 稲田彰典)



一般建設業 及び 土木工事
東京都知事許可番号(般)第124472号
株式会社 九州斗建設
代表取締役
寺平 末廣 (河浦出身)
〒121-0823
東京都足立区伊興4-3-24
電話/03-6807-1150
FAX/03-6807-1150



有限会社 マキノ・グループ
代表取締役
岩下 幹子
〒270-0225
千葉県野田市平井230
電話/0471-981123
【三ツ堀営業所】〒278-0011
千葉県野田市三ツ堀4-1-132
電話/0471-7010557

環境と健康の時代への貢献

SDGsやカーボンニュートラル社会
植物の力を科学し、人々の健康と環境づくりに貢献していきます。

【事業内容】

全国に広がる観葉植物レンタルのフランチャイズチェーン「グリーン・ポケット」の本部運営
(東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・群馬・愛知・静岡・岐阜・石川・長野・兵庫・京都・大阪・岡山・広島・福岡)
オンラインフラワーサービス、造園・解体工事事業 他

代表取締役 **堺 亜琉** (龍ヶ岳出身)



国土緑化株式会社

【本社】〒132-0021 東京都江戸川区中央2-1-21
TEL03-3674-2611 FAX03-3674-5995
URL: <https://www.kokudorikokuka.co.jp/>

2023 地域会だより

関東有明会総会 開催さる

コロナ禍のため中止していた関東有明会総会（15期）が去る11月4日に、アリスアクアガーデン品川で3年8か月ぶりに開催されました。

天草市有明町、東京天草郷友会、関西天草有明会からご来賓を迎え、総勢74名の参加者でした。

関東有明会会長 今福 幸春



関東ふるさと苓北会

2023年11月26日関東ふるさと苓北会に参加してきました。コロナ禍もあり三年ぶりの開催ということで100名近くの参加者で会場は満席状態。熱気に溢れてのスタートで大仁田会長の開会挨拶にも力が込められていました。

苓北会のいいところは当日配られる式次第に不参加者から届く返信ハガキのコメントを多数掲載されているところです。それぞれ事情がありやむなく不参加されたのであろうことを会の方が参加された方へその旨を伝える。それを見た参加者も見知った方の事情を理解し、次回こそは一緒に参加しようと思われたことでしょう。この手間のかかる作業に会の優しさが溢れてると感じました。

また私は苓北中学校卒業以来40数年ぶりに同級生に会うことが出来ました。お互い少し年をとりましたが一瞬にしてあの中学の頃に戻ったようでほんと嬉しかった。このような機会を生み出すことが出来るのがふるさと会の魅力ではないかと思いました。

帰りの電車の中、会

の中で披露された柴田さんの踊りを思い出しながら同級生にLINEしてたら一駅ほど乗り過ぎてしまいました。心地よいほろ酔いでいい日曜日の午後でした。

昭和52年苓北中学校卒業 横田 吉弘



歩こう会

11月11日 昨夜の強風も収まり、小寒い朝、防寒対策に、お昼の用意準備万端で歩こう会の出発だ。家を出て三つ目の曲がり角「お前、玄関の鍵かけ

た？」「あら、どがんじやったかね」の返事に、引き返し確認して再出発。（我が家だけの話ではないと思う）船元夫婦と4人で駅へ。座っている電車に乗り、に、とうぜんOK。目的地へ到着。広い敷地に松・桜・樺・紅葉と年輪を重ねた大木。刈り込まれた広場に凜と剪定された木々に「いいねえ」の連発。通路のわきには苔に紅葉、芝のジュウタン、都会の真ん中にあるのか？と思議顔。少し歩くとシートを敷く平山氏に「もう お昼の用意なの？いくら歩いても歩いてないよ」と、船元氏。なんだかんだと言いながら片手に缶ビールを持っている。日本酒・ハイボールと口が温かくなると会話も弾み、ウクライナから中東の人種、宗教絡みの問題、さらに環境エネルギー問題と多くの課題に熱弁の新和会員。日本を背負って立つのは新和会だ：の勢い（気持ちにはわかるが：）でも 一番盛り上がるのは故郷自慢。我に戻った新和人に一安心。「カラスは池で水浴びしているけど寒くないのかな」の一言に一瞬静まり、誰となく首を傾げランチタイムが終わった。シートを片付け、重かったリュックは軽くなったが、足取りは重く少し歩こうの声についていく。公園中央通りだろうか、広い遊び場でキャッチボールをする親子、バトミントンの姉妹、輪になってヒップホップダンスをしている十人余りの女子軍団。私も真似してみたが、手も足も上がらず、手拍子で応援。その隣では恐竜の着ぐるみ姿の男子軍団のかっこ。我々も手をたたいての応援で、一緒に走った気分です。記念写真。少しあった風も収まり散策日和。森林の向こうに見える高層ビルや鉄塔は「俺もいるぞー」と、威張っている。時を気にしながら出口方向へ。平山氏グループと船元夫婦、藤川夫婦、総勢7名の歩こう会仲間「仲間いいネー」「代々木公園も良かったナー」お互い元気だとエールを送り解散。



藤川博祥

第2回 東京天草郷友会俳句大会

苓洲会講師 松永 律子

第2回東京天草郷友会俳句大会に、大人の部15句、小中学生の部2句の応募句がありました。応募いただいた方には心からお礼申し上げます。規定により大人4句、小中学生2句を選評させていただきましたので、ご報告申し上げます。

選評結果 大人の部

秀句 唐芋や兄弟九人の子守歌 河浦町 富永 英六

昔はどこも子沢山でした。兄や姉は妹や弟の世話をすることも多かったことでしょう。そんな生活を思い出す時、必ず脳裏に浮かぶのはいつも身の回りにあり暮らしを支えた唐芋なのです。

佳句 芋きらいの夫に魔法で絶賛さす 新和町 平山 美鈴

食わず嫌いだっただでしょうか？それにしても嫌いと言っていた人に絶賛させるほどの芋料理、どんな魔法か、読者は気になります。手の内を見せないのもこの作者の作戦。

佳句 卒寿叔母青春つなげた寮の芋 姫戸町 高橋 啓子

この句も生活を支えた芋を回顧する句です。人それぞれの生活のどの場面にも芋が登場し、如何に芋とともに暮らしていたかが浮かび上がります。

佳句 坂道を婆様鍬背負い芋掘りへ 龍ヶ岳町 浜崎 明

昔からよく歩いていた方は今でも健脚で、山を切り開いた段々畑で作業をする姿をテレビで見たりします。この句は回顧の風景かも知れませんが、長年続けた仕事には何の迷いもなく一心に仕事に向かう人の姿が小気味よく描かれています。

選評結果 小中学生の部

観察賞 子供らがあみふりつかまる赤とんぼ 姫戸町 飯島 美月

簡単には捕まらなかった赤とんぼだが、子供たちが振り続ける網にとうとうつかまってしまった。その網に捕まったとんぼのことが気になっている様子も読者に伝わります。

あたたか賞 柏には楽しいことがあるのよね 板橋区 今福 麗聖

お互いに会えることを楽しみに待っている姿が浮かんできます。この俳句でこちらも心がほっこりします。

次は、楽しいことの一つを具体的に表してみてください。その時、季節を表す「季語」を使ってみましょう。

選句された句に対しは、賞状と、秀句に商品券四〇〇〇円、佳句に商品券二〇〇〇円、観察賞とあたたか賞に図書券二〇〇〇円を
進呈します。

苓洲会の活動状況

文芸部部長代行 今福 幸春

苓洲会は、原則月1回の句会（年に2回は吟行）を行うようにしています。（詳細は左表をご覧ください）

本誌では、昨年11月に行った吟行を中心に活動の報告と作品をご紹介します。

1. 吟行の場所

これまで、吟行は有名な公園や寺社などで行ってきました。

今回は文京区の「小石川植物園」を選びました。

日付	吟行・句会の場所	参加者数
2023年2月25日	プルデンシャル社の会議室	7
3月25日	プルデンシャル社の会議室	7
4月22日	ジェイエスピー社の会議室	8
5月27日	御苑／ルノワール	5
6月24日	神奈川県民センター	6
7月16日	神奈川県民センター	7
9月24日	藤沢市図書館	7
10月15日	藤沢市図書館	7
11月19日	小石川植物園／白山交流館	6
12月23日	神奈川県民センター	7

朝ドラ「らんまん」の舞台で有名になった牧野富太郎博士の標本や植物誌会報が展示されていたり、山本周五郎の「赤ひげ」の小石川養生所跡を見てみたいというのも選定の理由でした。そして天草人として忘れてはならない「さつまいも」を300年前に日本で初めて試験栽培し、不作などの時の食料として全国に広めた青木昆陽の記念碑を見てみたいということも理由の一つでした。

実際に植物園に行ってみて、日本の多種多様な植物のみならず、ニュートンのりんごやダーウインのブドウをはじめとする世界の木が多数集められていました。しかも、巨木化して、周りを圧倒していました。

すべてが印象深く感動が大きかったため、つい作句を忘れてしまうのではと思っていましたが、実際はその逆でした。感動を素直に俳句にしたためか、スムーズに作句が進みました。講師の松永律子先生からも「今回はよい作品が多かったですね。皆さんは、机の前で作るより、実際にモノを見て作る方がよい作品ができますね」とほめていただきました。

このことは、俳句の原点である「四季折々の風景の一瞬を切り取ってそれを句として表現しなさい」とよく岩崎先生からも指導

を受けましたが、そのことがようやく理解できたように思いました。このことは、写真や絵画にも通ずる俳句の基本なのだと感じました。

皆様も、是非、小石川植物園を一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

今回の作品の一部をご紹介します。皆さんも、その感動を感じていただけたら嬉しいです。

吟行句

十一月 小石川植物園にて

上着手に色とりどりの落ち葉踏む 酎蚊

散り紅葉苔むす岩を埋め尽くし 醍醐

音なきよう落葉をかるく踏んでみる平山

蔦まとい楠より高し山桜 本田

日本の命繋ぎし甘藷かな 白酒

吟行不参加者の最近の句会から

谷底の迫（せま）き刈田の父と母 赤石

今年米稲穂の一本ついて来し 織華

松永律子先生の句も鑑賞してください。

厚落葉踏めば太古の森の中 松永

小石川植物園の紹介

東京大学大学院理学系研究科附属植物園は、一般には「小石川植物園」の名で呼ばれ親しまれており、植物学の研究・教育を目的とする東京大学の附属施設です。

この植物園は日本で最も古い植物園であるだけでなく、世界でも有数の歴史を持つ植物園の一つです。

1684年に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」がこの植物園の遠い前身で、明治10年、東京大学が設立された直後に附属植物園となり一般にも公開されてきました。

また、1723年に施薬院（養生所）が設けられ、1735年には青木昆陽によるサツマイモ（甘藷）の試作が行われました。

園内には長い歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺構が今も残されており、国の史跡および名勝に指定されています。



天草発ふるさとの 昔むかしの昔話

青木 賢治

与謝野鉄幹にとって 五人との天草旅行とは

五足の靴という紀行文は皆さんご存知です。与謝野寛(鉄幹)がまだ学生であった木下左太郎、北原白秋、平野万里、吉井勇ら後の高名な文人となる四人を連れて九州を旅した記録です。一行は天草で大江の教会を訪ねガルニエ神父に会いたい感謝を受け、天草で体験したことは彼らのその後の作品にも影響を与えたとされています。天草の旅路は五人にとっては一生の忘れ難いものであった。と僕は思っていたのですが、ちょっと面白い記録がありましたのでご紹介します。

与謝野鉄幹はあれから二十五年後の昭和七年に妻であるあの与謝野晶子と娘の藤子を伴って再び天草を訪れます。この与謝野家の旅行には九州日日新聞の主筆である後

藤是山も同行していて晶子と共にこの旅での鉄幹の行動や言葉をよく記録していました。その中で本渡に着き今の重壽多にあったと思われる旅館喜久屋に入って浴衣に着替え窓を開放し町山口川の風に吹かれ涼んでいるときのインタビューが残されていました。その記事によると与謝野夫婦は松島の風景を絶賛していたそうです。この景色は東北の松島を超えていると。そして鉄幹が思い出話を始めます。

「たしか明治四十年頃長崎から富岡に来たことがある。その時は大学生が他に二、三人あり」

え！二、三人ってこっちは五足の靴って強く思っているのに。引率の鉄幹さんが覚えてないの？あなたの他に二人でも三人で

もなく四人来たんですよ。

「ギリシタン事蹟を探りたいため高浜か大江かの山の上の教会堂にいったことがあった」

高浜か大江って！東京の人である鉄幹さんにとって高浜大江は大差ないのでしょくどね。

「案内も無しに山の教会を訪ねたのです」

と語りその教会の帰りに道に迷い日も暮れて真つ暗になり山道を歩いていると殺人犯を探していた巡査に出会い皆恐怖したって思い出話を披露していたのですが。その巡査さんは殺人犯を追ってるのではなく詐欺犯を追っかけていたはずですよ。五足の靴に書いてありましたから。鉄幹さんちよつと話盛過ぎでしょう。しかもそのエピソードは教会の帰りじゃありません。富岡から大江の宿に行く途中での事です。ガルニエ神父に会いに大江天主堂に行ったのはその翌日。早い時間だったので帰りに夜道に迷うなんてことは無いのです。こんな感じで記憶もあいまいな思い出話を新聞人の前で平気で語っちゃう与謝野鉄幹さん。ちよつといい加減でサービスピ精神旺盛で好感持てます。資料読んだとその人の人間性や人柄を感じることが時々ありますが今回もまさにそれにあたり、与謝野鉄幹さんの人柄に触れることができたような気がしました。ちなみにこの旅行で高浜まで来ていた鉄幹さんですが大江には行っていない。ガルニエ神父や茂助さんとは再会してないんです。残念！。

◆株式会社 藤川工務店

代表取締役

藤川 圭一 (新和町出身)

従業員募集…とび・土工・型枠大工・鉄筋工他
各種資格取得者優遇(寮完備)
概ね、50歳程度の方迄といたします。

■本社

〒223-0056 横浜市港北区新吉田町五七八〇番地八号

電話 〇四五(五九二)五〇七五

FAX 〇四五(五九三)三〇一八

■関東事務所

〒341-0005 埼玉県三郷市彦川戸一三二二一

電話 〇四八(九五三)二六六五

FAX 〇四八(九五三)二六六五

航空電子システム&EMC研究所

所長

平田 俊清 (東京本渡会会員)

〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷1-18

TEL&FAX 046-2332-5942

携帯 090-3524-9113

Email thirtat@lilac.ocn.jp thirtatmph@gmail.com

社会福祉法人 明 照 園

理事長 三宅 晃 洋

〒243-0401 神奈川県海老名市東柏ヶ谷1-18
TEL 〇九六九七三二二四
FAX 〇九六九七三二二〇七

関東ふるさと新和会

会長

谷山 弘行

役員一同

〒114-0001 東京都北区昭和町2-16-1

(有) パリーズ内

FAX 03-3894-6451

携帯電話 090-8444-2954

コラム

変形性膝関節症と再生医療

青葉病院 三軒茶屋ブレストセンター 病院長 志茂 新

大谷翔平は大リーグで投手、打者の二刀流で活躍し、WBCで世界一となり、来季からドジャースに約1000億円の契約で移籍し常に話題となっている。

しかし夏に肘を故障し、来季の投手としての登板はない予定だ。大谷は2023年だけではなく、2018年にも右肘靱帯を痛めて手術をしている。

2014年に大リーグにいた田中将大も肘を故障したが、手術をせずにPRP (Platelet Rich Plasma: 多血小板血漿) 療法を行い回復した。PRP療法というのは、自分の血液を30〜60ml採取し、遠心分離機にかけて赤い血球と透明な血漿に分けて、その透明な血漿成分を患部に注入すること

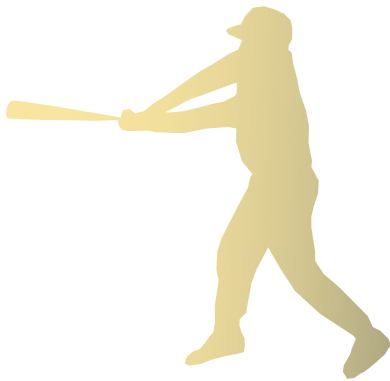
で、自己の修復能力を高める再生医療の一種である。2018年には大谷翔平もPRP療法をまず行ったが効果がなく、トミージョン手術をするに至った。PRP療法は再生医療のみならず、注入した部位の疼痛まで取れるということもあり、手術を回避でき注射だけで簡単に、しかも自分の血液を使うことで安全にできることから靱帯損傷のみならず、変形性関節症の治療として

も期待されていた。最近では変形性膝関節症に対し、テレビで『膝の手術をする前にご相談を』なんていうCMをみたので、PRP療法が一般的になってきたのかと思つて、調べてみたら驚いた。2023年の変形性膝関節症のガイドラインにPRP療法は推奨されていないのである。それどころか、2021年11月にJAMAに掲載された変形性膝関節症に対するPRP注射の効果を検証したランダム化比較試験(RCT) RESTORE (JAMA 2021; 326: 2021-2030) ではPRP療法は効果なしと報告されている。

この報告では288症例を対象としているため信頼度は高い。米国リウマチ学会(ACR)を含む変形性膝関節症の診療ガイドラインでもPRP療法を推奨していない。

しかしOsteoarthritis Cartilageに掲載された韓国からの論文(Osteoarthritis Cartilage 2023; 31: 793-801)では、YouTubeのPRP療法を推奨する動画のアップロード数は、最新ガイドラインの公開前後で変わりなく、医療情報提供者はガイドラインの見解を無視して、PRP

療法を推奨し続けていることが報告された。要するに根拠のあるガイドラインが発表されても、世の中の人には伝わらず、YouTubeやGoogleで検索された根拠のない情報が一般には伝わっていることが報告されている。PRP療法はCMではよく見かけるが根拠がある治療法ではなさそうである。ちなみに2023年の変形性膝関節症のガイドラインではコンドロイチンやグルコサミンはしっかり根拠がないことが記載されている。CMとはそんなものである。



TOKYO BIKO CO., LTD.
http://www.tokyobikou.co.jp

ART DIRECTION
ART DESIGN
SET DECORATION
FOR
MOVIE
TELEVISION
COMMERCIAL

日本映画・テレビ美術監督協会 監事
日本アカデミー賞協会 会員

代表取締役 / 美術監督
若松孝市
TAKAICHI WAKAMATSU

株式会社 東京美工
〒107-0052
東京都港区赤坂5-12 ルー・ド赤坂7F
TEL 03-3582-2885
FAX 03-3582-2883
E-mail: t.wakamatsu@tokyobikou.co.jp

コンピュータシステムの設計、開発

JSP

株式会社 ジェイエスピー
代表取締役 **稲田 彰典**
(倉岳出身)

〒220-0011
横浜西区高島 2-6-32
横浜東口ウィズポートビル 11階
TEL 045-444-3470
FAX 045-444-3471
URL http://www.jspnet.co.jp
Email: inada@jspnet.co.jp

NAKA Corp.
株式会社ナカ・コーポレーション

代表取締役 **中本 幸政**

【事業内容】

- 建築工事の設計、施行、請負
- 建築総合リフォーム (内、外装)
- 店舗工事の設計、施行、請負

〒114-0003
東京都北区豊島1-36-3
TEL 03-5902-5133
FAX 03-5902-5134
URL: https://www.naka-corp.com
E-mail: y.nakamoto@naka-corp.com
携帯 090-1034-5142
東京都知事(特1)第109891号

天草の家族は
元気にしているかな
ご家族や、お墓のそうじ
生活の手伝いなど
お気軽にご相談ください

ダスキンライフケア
天草ステーション
TEL 0120-931-123

季節の花宅配専門
ピュアフラワー 東京店

お申込み／お問い合わせ
フリーダイヤル
0120-97-0875
【受付時間】9:00~16:00
【休休日】土・日・祝日

株式会社 内田商会
〒144-0034
東京都大田区西桃谷1-12-9
TEL 03-3741-1916



『建てない建築』でまちづくり

天草のすまいとまちなみ研究室代表(一社) 天草地域総合研究所 副理事長 畑元 正司

私は天草市古川町で建築設計事務所を営み、本業の『建てる建築』と同時に、ヘリテージマネージャーとして歴史的建造物を保存・活用する『建てない建築』活動を進めています。又、天草地域総合研究所では、空き家対策とまちづくりに取り組んでいます。

銀天街から天草高校に向かう途中の「旧梶原産婦人科医院」を事務所として借りていますが、擬洋風の地下1階、地上3階建ての建物で、この地域のランドマークとなっています。通りの周辺には、諏訪神社や祇園橋、天草市文化交流館(旧教育会館)等、散策するにはとても趣のある地域です。本渡南小学校の南東側に、旧本渡町役場の門柱と塀の一部が残っている事を知った時は感動を覚えました。

旧梶原産婦人科は棟梁・千原種四郎により昭和2年に建築されました。旧教育会館は千原万五郎が棟梁で昭和9年に建てられました。又、諏訪町にあった「旧江上耳鼻科」は同・千原種四郎で、大正15年に、栄町の「旧横山歯科」は同・千原万五郎で昭和8年に建てられましたが、いずれも解体されました。更に、旧教育会館の隣で「堀田循環器科」となっていた「旧みくに新聞社」も昭和13年に千原

組により建設されました。

千原万五郎氏は大正10年に設立した千原組の創始者で、種四郎氏はその兄です。

当時、千原組は建築工事が主体で、特に洋風建築を得意としていたようです。付け加えると、施工者は不明ですが、本渡町役場も洋風のモダンな建物で昭和4年に建設されています。15年足らずの間に、狭い範囲に多くの洋風建築が建てられたことから、当時の洋風建築への憧れと、建築ラッシュとなる経済発展を垣間見ることができます。歴史的建造物の経緯やそれに関わるドラマを調べると、地域の歴史が見えてきます。

天草には全国的にも珍しい特有の歴史があり、各地に文化的価値のある建物が数多く残っていますが、社会の変化と共に様々な理由で空き家となり、老朽化が進み、維持管理が困難になっています。残念ながら解体されるケースも増えています。

地域にとって貴重な建物やまちなみを守り、後世へと伝えることは、天草らしいまちづくりをして行く上でとても重要なことだと思います。今後も、地域の宝である歴史的建造物をできるだけ守り、まちづくりへと繋げていきたいと思っています。



梶原産婦人科建設当時



旧梶原産婦人科現在



旧横山歯科（令和3年解体）

社会保険労務士段下正志事務所
所長 段下 正志 (龍ヶ岳出身)

〒102-0007
電話/03-3288-1035
東京都千代田区飯田橋3-2-10
E-mail: danshi@do-im206.jp

アイアイ
総合警備保障
株式会社

代表取締役・行政書士
福田 耕司



警備スタッフ募集中
詳細はこちらへ



〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7-10-20
TEL 03-6661-3281~2
携帯 090-8767-3628 FAX 03-6661-3283
E-mail fukuda2262aiai@ybb.ne.jp



省力化機器・設計・製作・機械加工

株式会社 新和精機

代表取締役

岡本 日吉

〒190-1222
東京都西多摩郡瑞樹徳町
箱根ヶ崎東松原2-27
TEL 042-556-1277(代)
FAX 042-556-5261
Direct 090-8946-2782
E-mail: shinwaseiki.co@nifty.com
URL https://新和精機.jp



株式会社 OSTブレーン
一級建築士事務所

代表取締役

塚本 浩晴

(松島出身)

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-13飯田橋 i-MARK ANNEX302
TEL 03-5210-2244(代表) FAX 03-5210-4466
携帯 090-2728-8583
URL: http://www.ostburein.co.jp mail: osttuka@ostburein.co.jp

東京天草
育英会より

学生を囲んでの懇談会、懇親会開催



令和5年12月2日(土)、一般社団法人東京天草育英会「奨学生を囲む会」を久しぶりに開催しました。

当日は、奨学生4名・OB3名・育英会役員・協力者の皆様19名の合計26名の参加を頂きました。

午前中は、文京区の凸版印刷博物館にて、松野明久東京天草育英会評議員講義(元大阪大学教授)テーマ「世



界を知りたい!若い頃の夢と今の思い」を語って頂き、その後博物館の担当者による「印刷博物館概略、きりしたん版天草本の存在」わが国初の西洋式活版印刷は天草から」の説明など研修会を行いました。

午後には場所を移し飯田橋「南国酒家」にてランチ会を開催し、奨学生の学生生活報告、会としての今後の活動や活動を充実させるための貴重な時間を過ごすことが出来ました。

奨学生の皆様の充実した学生生活を聞くことができ、とても嬉しく思いました。



園田理事長から、11月に天草高等学校を訪ね、奨学生希望の生徒に応募の方法など東京天草育英会の説明をしてきたこと、天草在住の奨学生OB2名も参加し育英会について話してくれたこと、奨学生OBも元気で地元天草で活躍していることの報告がありました。

今後定期的に奨学生との交流を図っていきたいと思います。

皆様からの心のこもったご寄付が若者の手助けとなっております。今後ともご協力よろしく願います。



(文責 西岡 智彦)

東京天草育英会の皆様や天草出身者の皆様の御寄附により、毎年、奨学金の給付が可能となっています。今年度は奨学生や奨学生OBの皆さんと懇談会を開催し、意見交換することができました。ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が若者の手助けとなっています。
ありがとうございます。

1,000円から
何口でも結構です。

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

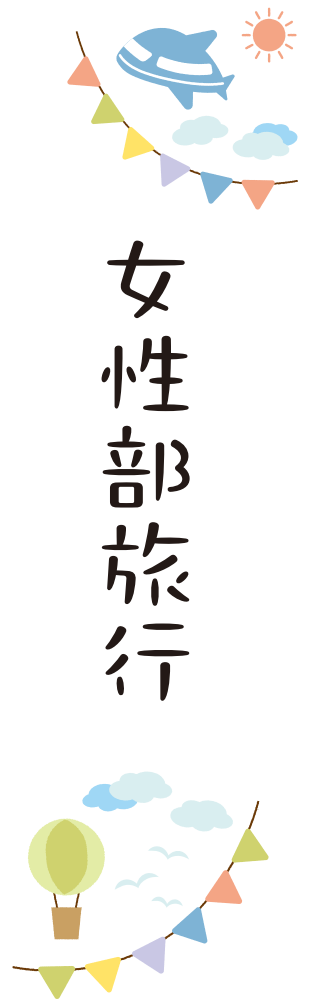
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号



大寒の候、1月28日～29日に女性部主催による親睦旅行が開催されました。昨年は、日帰り旅行でしたが、今回は会員さんからの要望も強かった泊り・宴会付きの旅行で、4年ぶりの開催となりました。

2日とも、季語では大寒ではありますが、晴天に恵まれ太平洋からの日差しは眩し

女性部旅行



を感じるほどの陽よりでした。老若男女25名の皆さんの参加を頂き、楽しく過ごすことが出来ました。参加出来なかった方にも、その行程がわかるようにご説明したいと思います。

当日は、朝8時30分に東京駅八重洲北口に集合。天草郷友会のガイド旗を目印に、時間通りに集合出発です。バスの中では、幹事志茂女性部長・上田会長の挨拶で、バスは動き出しました。遠足を思い出す袋入りのおやつが一人一人に配られ、まずは缶ビールで乾杯。

後方の座席はサロンスタイルになっており、早くも宴会が始まりました。

まずは水戸弘道館を訪問。弘道館は、水戸藩第九代徳川斉昭が天保12年(1841年)に藩士とその子弟の教育のために設立した藩校です。藩校としては全国一の規模を誇った敷地内には、正庁・至善堂のほかにも文館・武館・医学館・天文台・鹿島神社などが建設され、また馬場・調練場なども整備され、まさに文武両道・総合的な教育施設でした。幾度の戦火を逃れて現存する正門・正庁・至善堂は、国の重要文化財に指定されています。その後、いわき震災伝承みらい館を訪問。2011年3月11日



東日本大震災での津波被災地に立地し、未曾有の大震災を体験した「震災語り部」の方に、記憶や教訓、被災地の復旧・復興状況などをバスの中で話してもらいました。いわき市の被害の様子は、テレビでの放映も少なく私をはじめ知らない人が多かったですが、当時のパネルや映像を見学して、被害の大きさに大変驚きを感じました。自然災害が多い日本で生活している以上、自分中心として捉えて日ごろから準備していくことの大切さを感じました。そして、いよいよ本日のお宿いわき温泉「吹の湯」に着。吹の湯の自慢は、屋上に備えた展望露天風呂と最上階展望大浴場。大正12年に創業した老舗旅館です。旅行の疲れを温泉で



外国人特化型人材紹介・派遣
テクノワールド株式会社

マネジャー HRコンサルタント

安達 大悟
(河浦町出身)

派遣元責任者/キャリアコンサルタント

〒110-0015
東京都台東区東上野5丁目1番
8号上野富士ビル10階
電話 03-5830-6210
E-Mail fhr@aaa.gr.jp

労働者派遣事業許可証許可番号
派07-300098

<https://www.technoworld-hr.co.jp>

AAA(トリプルエー)
コンサルティンググループ

中小企業経営コンサルティング
adachi&associates 合同会社

代表社員 ファウンダー

安達 大悟
(河浦町出身)

公的補助金診断士1級
公的助成金診断士1級
宅地建物取引士
M&Aシニアスペシャリスト

〒107-0052
東京都港区赤坂4丁目13番5号
赤坂オフィスハイツ1階26号
電話 03-6825-2288
E-Mail adachi@aaa.gr.jp

<https://www.adachiandassociates.co.jp>

RISK FINANCING
総合保険代理店ファイナンシャル
アライアンス所属
リスクファイナンシング

代表

安達 大悟
(河浦町出身)

生命保険大学課程
生命保険講座全科目合格
相続・事業承継コンサルタント
ファイナンシャルプランナー
生命保険面接士・生命保険支払専門士

〒221-0864
横浜市神奈川区菅田町2874-38
電話 080-4404-5111
E-Mail hoken@aaa.gr.jp

MDRT® 2024年度MDRT成績資格会員

2024年度
MDRT成績資格終身会員

霞ヶ関エイジェンシーオフィス
シニアエグゼクティブ コンサルタント

天草晩柑大好きです

西岡 智彦

AIG損害保険株式会社代理店 損害保険募集人

メットライフ生命保険株式会社
社〒100-0004
東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル 22F
tel: 03-6870-6440
Mobile: 080-5444-6930

AG.nishioka.tomohiko@metlife.co.jp

www.metlife.co.jp

MetLife
メットライフ生命

MDRT®
Qualifying & Life Member

東京高浜会(天草町高浜出身者の同郷会)

本年度の総会・懇親会は六月二十九日(土)正午よりグランドヒル市ヶ谷にて開催します。高浜出身の方、縁故者の方は振るって参加ください。

〒二七三〇〇四二

船橋市前貝塚町二〇〇(上田方)

電話/〇九〇一七九〇三三六六三



癒し、いよいよ宴会がスタートしました。
上田会長・藤川元会長・園田元会長の挨拶を頂き、寺平副会長の乾杯で食事開始。一品一品、こちらのこもった料理で「見ても美味しい」「食べて美味しい」特に新鮮な魚介類を堪能できました。その後は、恒例のど自慢と自前の衣装を持ち寄り、しながら演芸会と変わっていきました。皆さんお元気で、このパワーが東京天草郷友会の源だと改めて認識しました。
二日目は、願成寺国宝白水阿弥陀堂を散



今後毎年1度開催して、日ごろでは気づかない会員さんの特技を再発見し、たくさん飲んでたくさん食べてたくさん笑える機会を提供していきたいと思っています。
「あー楽しかった」と思って、みんな帰っていったと思います。(事務局 西岡智彦)



策し、福島名物薄皮饅頭のお店でお土産を購入。
お昼は小名浜港の海鮮市場で、再び海鮮料理を頂きました。ただ、昨夜の疲れの影響かもしれません、皆さん静かに食べているような感じが見受けられました。海鮮市場でお土産を見たのち、東京に向けて帰路につきました。小名浜港から約2時間30分で東京スカイツリーが高速道路から見え始め、東京駅に夕方5時に到着し解散となりました。
幹事の女性部の皆様、そして参加して頂きました会員の皆様、ありがとうございました。



連載

赤石という生き方

～赤石洋子ママの半生～

第1回 仕事の流儀



東京、銀座。コロナ禍も落ち着いたが、まだまだ昔のように活気が戻らないこの街に、一軒の老舗クラブがある。銀座8丁目、第3ソワレドビル5階、クラブ赤石だ。外に漏れ聞こえる歌声、そのドアを開けると、諸兄が思い浮かべる「銀座のクラブ」とは違う。店から溢れんばかりのお客たちが、思い思いに酒を飲み、カラオケを歌っている。10坪ない店内に所狭しと20名以上はいるだろうか。演歌に歌謡曲、最新の曲まで、老若男女LGBTここまで多様な客層から愛されるクラブを見たことがない。壁には大きな鏡があり、大きな椿の絵が掛けてある。これはママの自作らしい。客席は15席ほど、カウンターもあるがたくさん

のボトルが並んでいる。その奥には小さなキッチンがあり、小柄な女性が立っていた。お客さんみんなから愛される、赤石洋子ママである。御歳92歳。女性の年齢を公表するのは些か憚られるが、今や銀座で最年長のママとなった。会報の記事を書きたいからインタビューしたいということ、「私の人生なんか書かないでいいから、仕事のことを書いて欲しい」とのこと。みんなが知っていたが、仕事にかけける情熱は、半端ではない。基本土日は休みであるが、ほぼ休みなく店に出ている。予約があればお昼ごろからでも店を開け、お客が帰らなければ朝方までいることもある。もう一度言う、92歳である。筆者の祖母は1歳年下だが認知症で施設に入っている。「私はこの歳にしては肉付きがいいでしょ」という。このバイタリティはどこからくるのか、聞いてみた。「生きていくうちには働くしかないから働くの」だという。92年現役でいる人しか言えない言葉であろう。続けていう「人間誰でも自分の職に一生懸命になるじゃない」と。果たして自分はできてるのだろうか。

今号ではママの経営論に踏み込んでみた。いわく「空気読めないのはあんまり好きじゃない。酒を飲む時の人間心理だけ、自分の歌いたい歌をのべつまくなし歌う人は誰も聴いてくれない。そういう心理はお酒を飲まない人にはわからないと思うな。そりゃ自分の好きな歌を歌えばいいけど、でも人間は常に誰かに注目してもらいたいと思うじゃない？ 注目されたくなければ、1人で飲めばいい。人前に来て飲むってことは、みんなの調和の中で、歌うことも必要だと私は思う」と。「私の経営に一番大事なのは、店に対して私の精神というか私の生きるための心情を反映させることと、思ってるよ。例えばまず1番大事なのは飲み放題5,000円のお会計。この金額にしたのは従業員なくしてコロナの前あたりからだけど。その前も、ちゃんとは忘れたけど従業員もいたから7,000円ぐらいだったかな。華やかなる丸源21ビルにいた頃から、うちは高くは取らなかった。」店の経営で大事にしてるのはお勘定の取り方だそう。客の立場ではとてもありがたいが、売上が心配になる。しかしこの銀座のど真ん中で45年も続くクラブ赤石。その秘訣がどうもこのあたりにありそう。次号では、バブルの頃の話や、生い立ちから仕事を始めた経緯、さらに仕事の中身にも迫っていききたいと思う。ご期待いただきたい。

天草へ帰郷を検討されている皆さん

めぐみ保育園で
一緒に働きませんか？

問合せ ☎0969-23-7334 (担当:金子)
〒863-0038 熊本県天草市南町6-9



記事を書けますか、と言われた時は二つ返事だった。しかし実際にインタビューを行おうとして用意していた質問事項を投げかけてもその通りに話は進まない。そしてどんどん出てくる話を記事に起こそうとすると、あまりにも膨大な経験をまとめることの難しさに筆も止まってしまった。それもそのはず僕の倍以上生きておられ、その半生はあまりにも壮絶だからである。日頃から色々なエピソードを聞かせてもらっているが、その人生観や仕事観は、みんなにとっての宝だと気づいた。今後この広報誌にて、毎号少しずつ赤石さんという稀有な人物を解き明かしていきたいと思う。ぜひ期待していただきたいと共に、赤石さん、健康だけには気をつけて、さらに長生きしてください！

青年部 安達大悟

事務局より

令和5年度の会費・維持会費・ご寄付ありがとうございました。

■会の諸活動費は、皆様の会費で運営いたしております。令和6年度より年会費3,000円とさせていただきます。

■尚、会費・維持会費・ご寄付を頂いた方には、本来であれば領収書を送付すべきところですが、経費削減を図るため、会報に記載することで省略させていただきます。万一、記載漏れ等ございましたら、事務局までお知らせください。対処させていただきます。

どうかご理解のほどよろしくお願いいたします。

維持会費 (16名)		ご寄附者 (85名)				合計531,000円		令和5年度 東京天草郷友会総会・懇親会収支報告書			
		収入の部		支出の部							
上田 幸穂	50,000	長田 定利	50,000	竹森 治	8,000	原田 初則	3,000	前期繰越分	2,348,141	通信費	405,389
堺 亜琉	50,000	山本 起也 (のさりの島監督)	30,000	島田 和子 (故人 島田馨)	8,000	仁科 正男	3,000	年会費	506,000	事務費	112,134
内田由美子	30,000	若松 孝市	22,000	西 末光	8,000	山下 康親	3,000	維持会費	303,000	諸会費	7,000
塚本 浩晴	30,000	和田キヨ子	20,000	若松 一喜	8,000	河内 康宏	3,000	寄付金	531,000	支払手数料	254,051
藤川博・寿子	20,000	和塚 浩晴	20,000	坂川 武	6,000	清原ミツヨ	3,000	会報広告費	730,000	荷造運賃他経費	85,011
柴田 治美	20,000	中本 幸政	10,000	坂口 政光	3,000	清原ミツヨ	3,000			会報製作費	801,900
桁山千鶴子	20,000	柴田 治美	10,000	児島 五郎	3,000	坂口 政光	3,000	総会会費等	1,441,800	総会費用	2,251,227
中本 幸政	20,000	赤石 洋子	10,000	小山 隆紹	3,000	小田 隆紹	3,000	幹事会他収入	499,000	幹事会費用	755,830
園田 峯生	10,000	田中 盛正	10,000	平山 康	3,000	段下 文男	3,000			預り金(R5年度会費払出振替)	36,000
荒木 親洋	10,000	松崎由基夫	10,000	段下 文男	3,000	堺 千種	3,000	預り金*	4,000	未収入金*	2,000
山崎 義則	10,000	稲田 彰典	10,000	北内 寿夫	3,000	北内 寿夫	3,000	チャリティーゴルフ収入	313,988		
赤石 洋子	10,000	今福 幸春	10,000	大平 幸博	3,000	大平 幸博	3,000	計	6,676,929	計	4,710,542
安達 大悟	10,000	西岡 智彦	10,000	池田 光希	3,000	池田 光希	3,000			次年度への繰越金	1,966,387
西岡 智彦	10,000	加瀬 初美	10,000	高尾 朋行	3,000	高尾 朋行	3,000			(災害救済基金累計額 630,728円含む)	
藪本 房雄	3,000	安達 大悟	10,000	逢川まさき	3,000	逢川まさき	3,000			ゆうちょ残高	1,943,056
		友澤 蘭香 (ミチコ)	10,000	志茂 豊子	3,000	志茂 豊子	3,000			現金残高	23,331
		島崎源之助	3,000	町村 良之	3,000	町村 良之	3,000				
		山下 順子	8,000	玉田 七郎	3,000	玉田 七郎	3,000	収入合計	6,676,929	支出合計	6,676,929
		川口 智光	8,000	吉野平八郎	3,000	吉野平八郎	3,000				
		新 日出雄	8,000	白木 政彦	2,000	白木 政彦	2,000				
		谷山 弘行	8,000	松田 浩幸	2,000	松田 浩幸	2,000				
		富永 英六	8,000	西浦三喜男	2,000	西浦三喜男	2,000				
		園田 峯生	8,000	山田 廣記	1,000	山田 廣記	1,000				
		山本 春繁	8,000	助村 龍弘	1,000	助村 龍弘	1,000				
		白石 洋子	8,000	中川 信男	1,000	中川 信男	1,000				
		山下 純二	8,000	松尾 和生	1,000	松尾 和生	1,000				
		西田 勝年	8,000	松浦 進	1,000	松浦 進	1,000				
		岩下 直記	8,000	合計 531,000円							
		原田 幸徳	8,000								

令和5年12月31日事務局に提出された令和5年度決算報告書の各事項について監査しました。

会計に関する帳簿、計算書類について立会照合等により調査した結果何れも、その取扱いが正当で、処理が正確であることを認めます。

令和6年2月10日

東京天草郷友会 会計監査 段下正志 ㊞

会計監査 若松一喜 ㊞

令和5年12月31日事務局に提出された令和5年度決算報告書の各事項について監査しました。

会計に関する帳簿、計算書類について立会照合等により調査した結果何れも、その取扱いが正当で、処理が正確であることを認めます。

令和6年2月10日

東京天草郷友会 会計監査 段下正志 ㊞

会計監査 若松一喜 ㊞

2023年度会費納入者一覧表 (12月31日現在)											合計 506,000円	
会費納入者253名												
天草町(町人会会)34名	上田 幸穂	明瀬 建	釜崎 初女	田中 一俊	高尾 朋行	清水 幸人	内田由美子	益田幸三郎	清原ミツヨ	柴田 治美		
	白木 政彦	若松キヌ子	天草 二郎	吉野平八郎	池谷 卓兒	山並 義也	高倉ヒロ子	井上 勉	山下 康親	汐見 香林		
	武田三千穂	萩原アツ子	藪 親晴	松下 一郎	浅尾由美子	御所浦 12名	角元 賢謹	山田慶次郎	鶴田 義久	柿原 栄勝		
	徳永 水郎	町村 良之	今福 武	喜多 哲正	山田 民雄	藤門 昌朝	中元 令士	山下 純二	松尾 和生	大久保幸一		
	川原 利之	藪本 房雄	入來 哲男	金子 春江	河浦 15名	西浦三喜男	藤川博・寿子	吉永 英二	森下 幸造	原田 典子		
	松山 高治	竹森 治	橋本 正志	田中 逸夫	亀山 美香	田中 盛正	岡本 日吉	山口 定敏	土黒 実	加瀬 初美		
	和田キヨ子	入口 寅雄	五和 26名	長濱 敏明	岩崎 勝美	松崎由基夫	川端 末広	本田 治幸	松本マチ子	龍ヶ岳 15名		
	上野 一正	丸田 泰郎	小林 惟邦	西 末光	大塚 延子	脇村うさ子	栖本 13名	本渡 34名	北内 寿夫	久保祐一郎		
	山下 知臣	中元 静	小山 隆紹	牛深 11名	倉田 蕃造	荒木 次代	原田るみ子	平山 直子	山口 誠一	中野 重徳		
	中本 幸政	下唐湊恵美子	荒木 親洋	山崎 義則	富永 英六	森田 義博	緒方 清	赤石 洋子	浜 健吾	段下 正志		
	松山 英文	有明 20名	清原 桂典	岩下 好夫	横田 吉弘	青山 典子	勝木 隆	野田とし子	松浦 進	岩元多美恵		
	山本 春繁	香月 秀廣	清水 一男	吉川 栄生	仁科 正男	天羽 幾世	盛田 公平	新 日出雄	玉田 元康	島崎源之助		
	原田 眞一	押方喜恵子	久野 栄子	上 元範	三宅 康定	小平 三男	福田 未隆	山中 麗子	平田 俊清	中 直治		
	川原 照文	押方 和雅	浜崎 昭元	笹原 亮二	歳田 博文	森 智昭	川端美根子	梅本 進	原田 幸徳	西岡 捷平		
	上田 春生	砂岡 俊宏	井上 正三	早水 橋夫	寺平 末廣	宮崎百合美	吉田 眞一	原田 純吾	金子 尚弘	緒方 輝男		
	白石 洋子	山田 敏房	佐藤 睦子	兒島 五郎	友山 重則	山下 順子	近藤 賢一	織田 堅	柏原美紀子	滝下 啓介		
	関根 正伸	赤城 一徳	森本 雅生	中道 俊信	大平 幸博	谷山 弘行	岡田 松市	松尾 希一	村田 満徳	段下 文男		
	原田 初則	濱崎 淳一	中井詔太郎	下川 洋子	田川 信也	鈴木 鈴美	兼平りみ子	園田 峯生	松島 13名	堺 千種		
	山下 清二	黒木 良美	山本 忠義	岡部 桂子	安達 大悟	安達 大悟	久保内総子	大曲 仁	松村潤之輔	堺 亜琉		
	大木 暢夫	松崎 文男	坂本 秀明	友澤蘭香(ミチコ)	山下 政博	山下 政博	玉田 七郎	井坂久美子	山口 京一	岩下 直記		
	平山 康	高戸 三幸	泉 善尊	大矢野 8名	倉岳 6名	岡田 達彦	山口 数子	山田 清	塚本 浩晴	濱崎 明		
	木田 研一	河内 康宏	桁山千鶴子	古嶋 康義	中村 功治	助村 龍弘	姫戸 10名	渡辺 和則	松田 裕一	坂川 武		
	西岡 智彦	今福 幸春	三澤 哲也	川口 智光	稲田 彰典	助村 隆郎	若松 孝市	山田 輝夫	高戸 昇	茶北 16名		
	若松 一喜	中川 信男	池田 光希	内野 多恵	坂口 政光	渡辺 吉明	甲田 敏明	松田 浩幸	坂口 亜衣	松本 浩樹		
	堀口 竜馬	柴田 健雄	村上三保子	園田 雅宣	稲葉由紀子	船元 俊之	山田 廣記	秋田 健二	志茂 豊子	雨森 雅子		
											会友 4 名	
											石塚 泰子	
											木村 功	
											大熊きよ美	
											逢川まさき	

令和6年度 東京天草郷友会総会・懇親会のご案内

期日 令和6年4月21日(日)

受付 10時30分より

総会 11時30分～午後2時30分

会場 東京消防庁スクワール麹町 3階「錦華」
東京都千代田区麹町6丁目6番 (JR四ツ谷駅麹町口より徒歩30秒)
TEL: 03-3234-8739

会費 男性 10,000円 女性 8,000円
家族割 15,000円 青年 5,000円 (30歳迄)

(お問い合わせ)

東京天草郷友会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-13 飯田橋i-MARK ANNEX 302

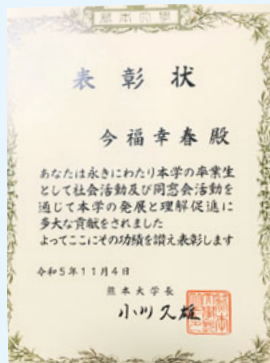
株式会社 OSTプレーン内 TEL 03-3261-5100 FAX 03-5210-4466

e-mail: info@amakusa-goyukai.jp



熊本大学表彰を受けました

熊本大学では、毎年社会活動および同窓会活動に功績があった卒業生を表彰する制度が設けられており、今年は工学部から今福ともう一名が表彰されました。(今福記)



東京熊本
県人会

70周年記念総会 理事 今福 幸春

東京熊本県人会は、昭和28年10月に発足しました。2023年11月13日に記70年目の記念総会が550名を集めて開催されました。

懇親会では、郷友会はじめ天草出身の方が多数出席されました。毎年東京・牛深ハイヤの会によるハイヤ踊りが披露されますが、今回も元気よく披露されました。なお、今年は、新しく山鹿灯籠踊りも披露されました。これからも引き続き首都圏での熊本県出身者と県民を繋ぐ会として発展していくことを期待しています。

(理事 今福幸春記)



これからの地域会総会

【関東ふるさと新和会】5月12日(日)アルカディア市ヶ谷
【東京五和会】6月23日(日)主婦会館プラザエフ
【東京高浜会】6月29日(土)グランドヒル市ヶ谷
【東京天草四郎ふるさと会】7月27日(土)主婦会館プラザエフ
【地域連協協議会】8月18日(日)ひごの屋(予定)

あとがき

お待たせ致しました。会報「あまくさ」118号を皆様のお手元へお届け致します。

2024年1月1日夕刻、辰年の新年幕開け早々に能登半島一帯に大地震が発生しました。多くの被災者が避難所生活を送り、電気や水道などの生活インフラが復旧していない中での生活を余儀なくされているのが現状です。一日も早く通常の生活を取り戻されることを祈念いたします。関東に在住する私たちも、「明日は我が身」という覚悟で災害時に備えて救急品のチェックが日常的に必要であることを今回の震災でも再認識させられました。

さて今年は世界的に選挙の年だと言われています。台湾の総統選挙は終了して、与党の民進党候補が勝利しましたが、議会では国民党に議席数で及びませんでした。台湾に対する中国の姿勢も日本としては注目すべき情勢です。我が国として11月の米大統領選挙の行方も大変気になるところです。

一方、日本は漸くデフレ経済が解消しながら円安による物価高が進行しています。産業界には政府の後押しによる賃上げムードが高まりつつあり、今後はインフレの好循環が期待されているところですが、我が東京天草郷友会に置きましても漸く対面での各種事業活動が活発化してきました。本年4月21日には総会がリニューアルされたスクワール麹町(四ツ谷)で実施の予定です。各地域会の活動も元に戻りましたが、広報部も皆様の活動状況を掲載してまいります。新しい試みとして会員の皆さんによる近況の「寄せ書き」などを収集して掲載することも検討したいと考えております。

今後とも会報への皆様のご協力を宜しくお願いいたします。最後にまだ寒さが続いておりますので、どうか皆様に置かれてはお体をご自愛くださるよう心よりご祈念申し上げます。

(広報部 稲田彰典)